

4月	<b>単元名・教材名</b>	<b>あさ(2)</b>	
	<b>指導目標</b>	◎教師の問いかけに対して、絵を見て見つけたこと、想像したことを話すことができる。 <b>言語活動</b> ■絵を見て話す。応答する。	
		学習活動	指導上の留意点
	<b>1</b> 教師が詩を読むのに合わせてはっきり言う。 <b>2</b> 絵を見て気付いたことを出し合ったり、挿絵の人物になって話をしたりする。		・教師の範読を聞いたり、一緒に声を出したりして、体中で言葉を感じさせるようにする。
	(関) 教師の指示を聞いて楽しく活動し、絵を見て分かったことを話そうとしている。 (話・聞) 教師の問いを聞き、適切な答えを言ったり、絵を見て話すことを見付けたりしている。		
4月	<b>単元名・教材名</b>	<b>なんていおうかな(2)</b>	
	<b>指導目標</b>	◎相手や場面に応じて、適切な言葉遣いで話すことができる。 <b>言語活動</b> ■生活場面に合わせて応答する。	
		学習活動	指導上の留意点
	<b>1</b> P10-11の絵を見て、何をして、どんな話をしている場面なのかを出し合う。 <b>2</b> それぞれの場面に合った言葉や動作を考え、友達とやり取りをしたり、クラスの前で発表したりする。		・学習場面や教師に対する言葉遣いと友達どうしの言葉遣いとの違いに気づかせる。
	(関) 体験を生かしながら、場面に応じた言葉遣いを考えて話そうとしている。 (話・聞) 相手や場面に応じて、丁寧な言葉と普通の言葉を使い分けて、話したり挨拶をしたりしている。		
4月	<b>単元名・教材名</b>	<b>どんなおはなしかな(2)</b>	
	<b>指導目標</b>	◎本や作品の読み聞かせを、想像を膨らませながら楽しく聞くことができる。 <b>言語活動</b> ■読み聞かせを聞いて楽しむ。	
		学習活動	指導上の留意点
	<b>1</b> 教師が選んだ本の読み聞かせを聞き、感想を言い合う。 <b>2</b> 教師が読んだ本や作品の内容(登場人物や出来事等)について話す。		・図書館の活用をする。
	(関) 知っている本や作品について話そうとしている。 (読) 教師の読み聞かせを、想像を膨らませながら楽しんで聞いている。		
4月	<b>単元名・教材名</b>	<b>どうぞよろしく(3)</b>	
	<b>指導目標</b>	◎相手によく分かるように、自分の名前などを丁寧に書くことができる。 ◎友達に知ってもらいたいことを考え、自己紹介することができる。 <b>言語活動</b> ■場面に合わせてあいさつ(自己紹介)をする。■紹介したいことを名刺カードに書く。	
		学習活動	指導上の留意点
	<b>1~2</b> 自分を紹介する名刺を作る。 <b>3</b> 作った名刺をもとに、友達とあいさつや対話をする。		・鉛筆の持ち方や書く姿勢、ノートの使い方、教科書や筆箱の置き方などを丁寧に指導する。
	(関) 平仮名を丁寧に書こうとしている。 (書) 語のまとまりを意識して書いている。 (話・聞) 名刺カードを交換する際、友達と言葉のやりとりしている。 (言) 「い」「ち」「ね」「ん」と、自分の名前を平仮名で書いている。		
4月	<b>単元名・教材名</b>	<b>こえのおおきさ どうするの(1)</b>	
	<b>指導目標</b>	◎場面に合わせた声の大きさを話することができる。 <b>言語活動</b> ■いろいろな場面で相手に伝わる声で話す。	
		学習活動	指導上の留意点
	<b>1</b> 教科書の絵を見て、四つの場面ごとにどんな声の大きさを話しているかを考える。		・場面ごとに、実際に声を出させるようにする。
	(関) 場面に合わせた声を出そうとしている。 (読) 場面に応じて適切な声の大きさを考えて話している。		
4月	<b>単元名・教材名</b>	<b>うたにあわせて あいうえお(2)</b>	
	<b>指導目標</b>	◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。 ◎「あ・い・う・え・お」の文字を正しい筆順で書くことができる。 <b>言語活動</b> ■想像を広げながら楽しんで読む。	
		学習活動	指導上の留意点

	<p>1口の開け方、声の大きさ、リズム、テンポなどを工夫して繰り返し読む。</p> <p>2「あ・い・う・え・お」の文字を書く。</p>	<p>・教師と児童のかけ合いにする、声の大きさを変える、声の表情を変える、打楽器を使うなど工夫して何度も唱えさせる。</p>
	<p>(関) 楽しくリズムをとり、声に出して唱えようとしたり、平仮名で単語を書こうとしたりしている。</p> <p>(読) ・言葉のまとまりで区切って、はっきりした発音で読んでいる。</p> <p>(言) ・「あ」「い」「う」「え」「お」の文字と発音を一致させて書いている。</p>	
5月	<b>単元名・教材名</b>	<b>ことばをつくらう(2)</b>
	<p><b>指導目標</b> ◎音節と文字の関係に気づくことができる。(</p> <p>○既習の平仮名を使って単語を書くことができる。</p> <p><b>言語活動</b> ■尋ねたり応答し合ったりする。</p>	
	学習活動	指導上の留意点
	<p>1「あ」「い」「う」「え」「お」で始まる言葉を集めて、「あいうえお」に親しむ。</p> <p>2これまでに習った文字を使って言葉を作り、ノートに書く。</p>	<p>・2文字の語、3文字の語を読んだり、考えたりして、1音節1文字であることに気づかせる。</p>
5月	<p>(関) 既習の平仮名を使った言葉を進んで見つけようとしている。</p> <p>(書) P24-25に提示された文字や自分で考えた単語を正しく書いている。</p> <p>(言) 1音1文字であることを理解している。</p>	
5月	<b>単元名・教材名</b>	<b>えをみて はなそう(2)</b>
	<p><b>指導目標</b> ◎絵を見ながら型に合わせて尋ねたり、質問に答えたりすることができる。</p> <p><b>言語活動</b> ■尋ねたり応答し合ったりする。</p>	
	学習活動	指導上の留意点
	<p>1教科書の絵を見て、どんな動物がどこにいるかを尋ねたり、答えたりする。</p> <p>2二人で交代したり、相手を変えたりして問答をする。</p>	<p>・答えの後に、尋ねた側はうなずいたり呼応した言葉を発したりして応じるようにさせる。</p>
	<p>(関) 絵を見て分かることを話そうとしたり、問答を楽しもうとしたりしている。</p> <p>(話・関) ・提示された「問い」「答え」の話型で話している。</p> <p>・質問→答え→答えに応じる、というやり取りをしている。</p> <p>(言) 主語と述語の関係に注意してやり取りしている。</p>	
5月	<b>単元名・教材名</b>	<b>かきとかぎ(2)</b>
	<p><b>指導目標</b> ◎平仮名で濁音を含む単語を書くことができる。</p>	
	学習活動	指導上の留意点
	<p>1 P28の唱え歌を、いろいろな言い方で楽しく読み、濁音に気づく。</p> <p>2濁音を含む短い唱え歌を考えて書く。</p>	<p>・清音と濁音の平仮名をノートに書かせる。</p>
	<p>(関) 濁音を含む単語を書こうとしている。</p> <p>(書) 濁音を含む唱え歌を考えて書いている。</p> <p>(言) 濁音がつく文字の音と表記を理解し、提示された平仮名を書いている。</p>	
5月	<b>単元名・教材名</b>	<b>あさのおひさま(1)</b>
	<p><b>指導目標</b> ◎リズムや繰り返しを意識しながら音読することができる。</p> <p><b>言語活動</b> ■詩を楽しんだり、想像を広げたりして読む。</p>	
	学習活動	指導上の留意点
	<p>1詩を声に出して読む。</p> <p>2想像したことを話す。</p> <p>3行頭の音やリズムに気をつけながら、暗唱する。</p>	<p>・声の大きさやリズムを工夫してはっきりと読ませるようにする。</p>
	<p>(関) 音の響きに気をつけて楽しく音読しようとしている。</p> <p>(読) 言葉のまとまりで区切って、はっきりと声に出して読んでいる。</p> <p>(言) 平仮名をすらすら読んでいる。</p>	
5	<b>単元名・教材名</b>	<b>はなのみち(6)</b>

月	<b>指導目標</b> ◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。 ◎文章や挿絵を見ながら、場面の様子について想像を広げて読むことができる。 ○敬体で書かれた文章になじむことができる。	
	<b>言語活動</b> ■物語を、想像を広げながら楽しんで読む。	
	<b>学習活動</b>	<b>指導上の留意点</b>
	1 動物が主人公のお話を読んだ経験を出し合う。 2 教科書の挿絵を手がかりに、場所や季節、登場人物のイメージを膨らませる。 ・登場人物を確かめる。 3 教師の範読を聞き、大体の内容をつかむ。 4 教師の後について、全文を音読する。 5 お話の内容を確かめる。 ・4枚の挿絵と本文の対応関係を確認する。 ・P34とP38の挿絵を比べ、野原や動物の様子の違いに気づく。 6 好きな挿絵の場面を音読する。 ・二人組で聞き合い、感想を伝える。 7 みんなの前で自分の好きな挿絵(場面)のところを音読する。 8 学習を振り返る。 ・お話の場面を比べたことや好きな場面を音読したことを確かめる。	・挿絵の拡大カラーコピーを用意して、活用する。 ・挿絵を比べて季節の移り変わりに気付かせる。 ・くまさんの独り言やくまさんとりすさんの会話、野原の動物たちのつぶやきなどを考えてせりふにさせる。
	<b>【関】</b> 登場人物の行動や時間・季節の移り変わりについて気づいたことを話し、文と絵の関わりを考えようとしている。	
	<b>【読】</b> ・言葉のまとまりで区切ってはっきりと声に出して読んでいる。 ・自分の好きな場面を選んで音読している。 ・2枚の挿絵の違いから話の大体の流れを理解している。	
	<b>【言】</b> 敬体で書かれた文章の内容を理解している。	
5月	<b>単元名・教材名</b>	<b>ねことねっこ</b>
	<b>指導目標</b> ◎促音や半濁音のある言葉を見つけて、正しく書くことができる。(2)	
	<b>学習活動</b>	<b>指導上の留意点</b>
	1 P42 のうたをいろいろな言い方で楽しく読み、促音に気づく。 2 P43 を見て、一語一語唱えながら促音の読み方を確認する。 3 P43 を見て、促音のある言葉を平仮名で書き、促音のある言葉を集める。 4 P43 の言葉の中の清音・濁音・半濁音を、書き順や濁点、半濁点の位置に気をつけて書く。	・促音と濁音の平仮名をノートに書かせる。
	<b>【関】</b> 促音や半濁音のある言葉を集めようとしている。 <b>【書】</b> 促音や半濁音のある言葉を正しく書いている。 <b>【言】</b> 促音、半濁音の表記を理解し、正しく書いている。	
5月～6月	<b>単元名・教材名</b>	<b>わけをはなそう(2)</b>
	<b>指導目標</b> ◎気持ちを話したあとに、そのわけを話すことができる。 ○自分の経験などをもとに、話題に沿って話すことができる。 ○言葉には経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。	
	<b>言語活動</b> ■感じ方とそのわけを話す。	
	<b>学習活動</b>	<b>指導上の留意点</b>
	1 P44 の挿絵を見て、顔の表情と出来事から女の子の気持ちやそのわけを考える。 ・顔の表情から、どんな気持ちかを考え、「わたしは 。」に気持ちを表す言葉を入れる。 ・「どうしてかという 。」には、挿絵を参考に、理由となる出来事を入れる。 2 P45 も、挿絵を見て P44 と同じように二人組で交流する。 3 自分の経験したことを、学んだ話型を使って話す。	・教科書の絵を見て、自分の体験を思い起こさせる。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二人組で交流したあと、グループや全体で発表する。</li> </ul>	
	<p>【関】気持ちとわけについて、進んで話そうとしている。</p> <p>【話・聞】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵を見て想像したことや自分の経験をもとにして、話すことを決めている。</li> <li>・気持ちを先に話し、その後にはわけを話している。</li> </ul> <p>【言】言葉には、経験や気持ちを伝える働きがあることに気づいている。</p>	
6月	<p><b>単元名・教材名</b> おばさんと おばあさん（2）</p> <p><b>指導目標</b> ◎長音のある言葉を集め、読み書きできるとともに、助詞「を」を文の中で正しく使うことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・語と語の続き方に注意しながら文を書くことができる。</li> </ul>	
	<p>学習活動</p> <p>1 P46の唱え歌をリズムに気をつけて読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長音になることで言葉の意味が変わるものがあることに気づく。</li> </ul> <p>2 P47の長音のある言葉を読み、書く練習をする。</p> <p>3 長音のある言葉を集めて友達と交流する。</p> <p>4 長音のある言葉を使って文を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「 を 。」という助詞「を」を使った文にする。</li> </ul>	<p>指導上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目と耳の両方を使って長音になじませる。</li> </ul>
	<p>【関】長音のある言葉を集め、正しく書こうとしている。</p> <p>【書】語と語の続き方に気をつけて、「——を——する。」という文を書いている。</p> <p>【言】長音の表記を理解し、提示された語を読んだり書いたりしている。</p>	
6月	<p><b>単元名・教材名</b> くちばし（8）</p> <p><b>指導目標</b> ◎説明の順序や内容を考えながら読み、自分の経験と結び付けて、感想をもつことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○文章の内容と、自分の経験や知識と結び付けることができる。</li> <li>・語と語の関係に注意して、助詞「は」を正しく用いながら、文を書くことができる。</li> </ul> <p><b>言語活動</b> ■生き物について説明している文章を読む。</p>	
	<p>学習活動</p> <p>1 学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「えをみてはなそう」で、問いに対して説明したことを思い出す。</li> <li>・鳥やくちばしについて、知っていることを出し合い、興味をもつ。</li> </ul> <p>2 P48の文と挿絵を見て、どんな鳥のくちばしかを予想する。</p> <p>3 全文を読み、内容の大体を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の予想と比べながら、教師の範読を聞く。</li> <li>・本文と写真を対応させながら、3種類の鳥のくちばしを取り上げられていることを確かめる。</li> <li>・それぞれのくちばしについて、「問い」と「答え」を確認し、「答え」のあとに詳しく説明している部分があることを確かめる。</li> </ul> <p>4 教材文の中から「これは、——です。」という文を見つけ、ノートに書き写す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「答え」にあたる部分であることに気づく。</li> <li>・P55を参考に、助詞「は」を適切に使う。</li> </ul> <p>5 自分のよく知っている動物について、「問い」と「答え」で説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活科で扱った生き物に目を向けたり、生き物の本や図鑑を見たりする。</li> <li>・「これは、なんの——でしょう。」「これは、——の——です。」という文を書く。</li> </ul> <p>6 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「問い」と「答え」という文章形式だったことを確かめる。</li> </ul>	<p>指導上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「問い」と「答え」の文型に気付かせる。</li> <li>・写真・挿絵と文を対応させて「するどくどがった」など様子を表す言葉に気付かせ、くちばしの特徴を理解させる。</li> <li>・関連図書をそろえて、読書環境を整えておく。</li> </ul>
	<p>【関】文章の内容や、「問い」と「答え」という形式に興味をもって読もうとしている。</p> <p>【読】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「なんの——でしょう。」という問いを捉えている。</li> <li>・問いと答え以外の部分に何が書かれているか理解している。</li> </ul>	

	<p>【書】呼応関係に注意して問いと答えを書いている。 【言】助詞「は」の表記と用法を理解している。</p>	
6月	単元名・教材名	おもちゃとおもちゃ(2)
	指導目標	◎拗音のある言葉を集め、読み書きできるとともに、助詞「へ」を文の中で正しく使うことができる。 ・語と語の続き方に注意しながら文を書くことができる。や場面に応じて話すことができる。
	学習活動	指導上の留意点
	<p>1 P56の唱歌をリズムに気をつけて読み、「おもちゃ」と「おもちゃ」の言葉の違いに気づく。 2 P57の拗音のある言葉を読み、書く練習をする。 3 拗音のある言葉を集めて友達と交流する。 4 拗音のある言葉を使って文を書く。 ・「へ」という助詞「へ」を使った文にする。</p>	・拗音の平仮名をノートに書かせる。
	<p>【関】拗音のある言葉を集め、正しく書こうとしている。 【書】語と語の続き方に気をつけて、「へ」という文を書いている。 【言】長音の表記を理解し、書いている。</p>	
6月	単元名・教材名	おもいだしてはなそう(3)
	指導目標	◎自分の体験を思い出し、姿勢や話し方に注意して順序立てて話すことができる。 ○友達の話に興味をもって聞くことができる。 ・言葉には、経験を伝える働きがあることに気づくことができる。
	言語活動	■経験を報告し、それを聞く。
	学習活動	指導上の留意点
	<p>1 最近の出来事を思い出す。 2 グループで互いの体験を発表する。</p>	<p>・教科書の挿絵を参考にしたり、友達と話し合ったりする。 ・「いつ・どこで・誰と・何を・どうした」という観点から、出来事を詳しく思い出す。 ・発表する人は、声の大きさや速さに気をつける。 ・聞いている人は感想を話したり、質問をしたりする。</p>
	<p>【関】体験を思い出して話そうとしている。 【話・聞】 ・自分の体験を詳しく思い出し、それをもとに話を組み立てている。 ・話す声の大きさや速さ、姿勢や口形に気をつけて話している。 ・話し手の方を向いて、興味をもって聞いている。 【言】言葉で体験を伝えることができることに気づいている。</p>	
6月	単元名・教材名	あいうえおであそぼう(3)
	指導目標	◎はっきりした発音や口形に気をつけて声を出すことができる。 ○遊び歌の語のまとまりや内容、言葉のおもしろさを楽しみながら声に出して読むことができる。 ・音節と文字との関係に気づくことができる。
	学習活動	指導上の留意点
	<p>1 P60-61の詩を読む。 2 自分たちの「あいうえおで あそぼう」を作る。 3 作った詩を発表し、それを教師が整理して書き出し、クラスの詩にする。 4 P62-63の五十音図を読む。 5 五十音図から言葉を見つけて発表する。</p>	<p>・調子のよい言葉のリズムに気づき、節をつけて歌うように読む。 ・何度も読んで詩の仕組みに気づく。 ・行ごとに二人一組で作る。 ・吹き出しやP129のひらがな表を参考にする。 ・声の大きさ、速さに気をつけてみんなで読む。 ・縦や横に読み、区切ったり伸ばしたりひそひそ声で唱えたりする。 ・各行や各列の音の特徴に気づく。</p>
	<p>【関】言葉のつながりのおもしろさに気づき、楽しんで読んだり書いたりしようとしている。 【話・聞】口形を意識して声を出している。 【読】言葉のまとまり、リズム、繰り返しなどを楽しんで音読している。 【言】 ・拍と表記の関係に気づいている。 ・平仮名の清音の大体を、母音を意識して正しく読んでいる。</p>	
	単元名・教材名	おおきくなった(4)
	指導目標	◎書こうとする題材に必要な事柄を、対象を観察して集めることができる。(書(1)ア) ○語と語の続き方に注意し、句読点を使ってつながりのある文を書くことができる。(書(1)ウ)

	・観察したことを、的確な観点で表すことができる。	
	学習活動	指導上の留意点
	1 学習の見通しをもつ。 2 どんな観点で植物を観察したいかを出し合う。 3 観察記録の書き方を知る。 4 観察記録を書く。 5 書いたものを友達と交流する。 6 学習を振り返る。	・生活科で育てている植物の様子を想起し、「よくみて、くわしくかこう」という学習課題を確認する。 ・教科書にない観点を見つけたら発表し、クラス全体で共有する。 ・P65 の二つの作例を読み、書かれている観点と書き方の共通点・相違点を見つける。 ・生活科で育てている植物を観察し、気づいたことをメモしたり、絵を描いたりする。 ・観察して気づいたことを文にする。 ・必要に応じて、P124 で横書きの書き方を確認しておく。 ・観察の観点や書き方について助言し合う。 ・教室に掲示し、みんなで相互評価をしてもよい。 ・いろいろな観点から観察することで、様子を詳しく記録できることを確かめる。
	<b>【関】</b> 観点を立てて、植物を丁寧に観察し、適切な言葉で記録しようとしている。 <b>【書】</b> ・教科書の観点を参考にしながら、丁寧に観察して、書く材料を集めている。 ・教科書の二つの作例の書き方の違いに気づき、どちらかを選んで同じような形式で書いている。 <b>【言】</b> 観察したことを記録するための観点について理解している。	
6月	<b>単元名・教材名</b>	<b>おむすび ころりん (5)</b>
	<b>指導目標</b> ◎語や文としてのまとまりや内容、文のリズムに注意しながら声に出して読むことができる。 ○場面の様子や登場人物について想像を広げながら読むことができる。 ・言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気づくことができる。(はっきりした発音や口形に気をつけて声を出すことができる)。 <b>言語活動</b> ■昔話を想像を広げながら楽しんで読む。	
	学習活動	指導上の留意点
	1 範読を聞いてあらすじをとらえ、音読発表会を知ることを知る。 2～3 場面の様子を想像しながら、音読を工夫して読む。 4 グループごとに分担を決めて音読練習をする。 5 音読発表会を開く。	・場面ごとに、お面をつけるなどして、それぞれの人物の気持ちを考え、せりふや動作を入れて音読を楽しませる。 ・みんなで読む部分を決める、打楽器を使う、動作化するなど読み方を工夫させる。
	<b>【関】</b> 役割を決めて楽しんで音読しようとしている。 <b>【読】</b> ・場所、人物、出来事に注意して読んでいる。 ・繰り返しや七五調のリズムなどを楽しんで音読している。 <b>【言】</b> 様子を表す語句、動きを表す語句、気持ちを表す語句があることに気づいている。	
6月～7月	<b>単元名・教材名</b>	<b>たからものをおしえよう (4)</b>
	学習活動	指導上の留意点
	1 学習の見通しをもつ。 2 「たからものをみんなにおしえよう」という学習課題を確認する。 3 「たからもの」について、二人組で交流する。 4 グループで「たからもの」の発表をする。 5 学習を振り返る。	・教師自身の「たからもの」についての説明を聞き、それに対して質問をする。 ・説明や質問のしかたを整理する。 ・大切にしている物を書き出す。 ・いちばん教えたいことを話す。 ・互いに質問し合い、説明する事柄を増やす。 ・「たからもの」について、説明する事柄と順序を決める。 ・聞く人は、質問をしたり、感想を述べたりする。 ・質問し合うことで、説明する事柄を広げられたことを確かめる。
	<b>【関】</b> 説明の方法を知り、「たからもの」を友達に教えようとしている。 <b>【話・聞】</b> ・説明のために必要な事柄を集め、順序立てて説明している。	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二人組で相談するとき、グループで発表するとき、それぞれに適した声の大きさや言葉遣いになっている。</li> <li>・相手が伝えようとしていることを、興味をもって聞いている。</li> </ul> <p>【言】言葉には、事物を説明する働きがあることに気づいている。</p>	
6月～7月	<b>単元名・教材名</b>	<b>は を へ を つかおう (3)</b>
	<b>指導目標</b> ◎助詞「は」「を」「へ」を正しく使って文を書くことができる。	
	学習活動	指導上の留意点
	<b>1～2</b> 唱歌を読んだり、「は」「を」「へ」の使い方を理解したりする。 <b>3</b> 「は」「を」「へ」を使った文を作る。 (関) 助詞「は」「を」「へ」の使い方に注意しようとしている。 (書) 助詞「は」「を」「へ」に注意して文を書いている。 (言) 助詞「は」「を」「へ」を文の中で正しく使っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調子よく読み慣れるまで、十分に唱えさせる。</li> <li>・動作が分かる絵カードを使ったり、教師や友達が動作をして見せたりして、文作りをさせる。</li> </ul>
7月	<b>単元名・教材名</b>	<b>すきなもの、なかに (4)</b>
	<b>指導目標</b> ◎「好きなもの」と「その理由」をその順序で、2文で書くことができる。 ◎書いたものを読み合い、感想を伝え合うことができる。	
	<b>言語活動</b> ■紹介したいことを文章に書く。	
	学習活動	指導上の留意点
<b>1</b> 自分の好きな物や好きなことをカードに書いて紹介する。 <b>2～3</b> 自分の好きなものや好きなことと理由を文章に書く。 <b>4</b> 書いた文章を友達に知らせる。 (関) 好きなものを書いて知らせることに興味をもち、進んで書こうとしている。 (書) 目的に応じて何を書けばよいかを理解し、題材を見つけて書いている。 (言) 主語と述語の関係に注意し、句読点を正しく用いて書いている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵と言葉でカードに書き、題材を集めさせる。</li> <li>・教科書の文を視写して、基本的な文の書き方を理解させる。</li> </ul>	
7月	<b>単元名・教材名</b>	<b>おおきな かぶ (6)</b>
	<b>指導目標</b> ◎繰り返しの言葉や文章のリズムを考えながら音読することができる。 ◎場面の様子や登場人物について想像を広げながら読むことができる。	
	<b>言語活動</b> ■物語を、想像を広げながら読んで楽しむ。	
	学習活動	指導上の留意点
<b>1</b> 範読を聞きながら物語の大体の内容をつかみ、劇遊びをする見通しをもつ。 <b>2～4</b> 登場人物になって場面を想像し、せりふや動作を考えて読む。 <b>5～6</b> グループごとに劇の発表をして楽しむ。 (関) 物語を読んで音読を工夫しようとしている。 (読) 繰り返しやリズムを楽しんで音読したり、場面の様子や登場人物の動きを想像して動作化したりしている。 (言) 誰が何をしたかを理解している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの場面でどんなことがあったのか、だれがだれを呼んできたかを確実に押さえるようにする。</li> <li>・おめんを作り、登場人物になってせりふや動作を考えさせる。</li> </ul>	
7月	<b>単元名・教材名</b>	<b>ほんは ともち (2)</b>
	<b>指導目標</b> ◎自分の読みたい本を選んで読むことができる。 ◎本の気に入った部分を選び、友達に知らせたり、友達の紹介を聞いて、次に読む本を考えたりすることができる。	
	<b>言語活動</b> ■読んだ本について、好きなところを紹介する。	
	学習活動	指導上の留意点
<b>1～2</b> 教師の読み聞かせを楽しんだり、好きな本を探して読んだりする。 (関) 自分の好きな本の話を進んでしようとしている。 (読) 表紙・題名などから本を選び、読んでいる。 (話・聞) 本の気に入った部分を選んで、友達に聞こえるように音読して紹介している。 (言) 文章を正しく読んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館利用のマナーやルールについて指導する。</li> </ul>	
7月	<b>単元名・教材名</b>	<b>こんなことをしたよ (6)</b>
	<b>指導目標</b> ◎知らせたい体験を決めて必要な事柄を思い出して集め、語と語、文と文とのつながりに注意して書くことができる。 ・長音、拗音などの表記や助詞を正しく使うことができる。	
	<b>言語活動</b> ■体験を知らせる文章を書く。	
	学習活動	指導上の留意点
<b>1</b> 学習の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最近楽しかったことを思い出して発表し合う。</li> </ul>	

	<p>2 P96 の作例を参考に書き方を確かめる。</p> <p>3 体験を知らせる文章を書く。</p> <p>4 書いたものを読み合い、感想を交流する。</p> <p>5 学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「たのしかったことを ぶんしょうにかいて、こうりゅうしよう」という学習課題を設定する。</li> <li>・文章に書く内容（「場所」「人物」「したこと」「思ったこと」など）を確認する。</li> <li>・伝えたい体験について、詳しく思い出す。</li> <li>・体験したことを絵に描く。</li> <li>・「いつ」「どこで」「誰と」「何を」「どうした」が分かるようにする。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の体験や気持ちを文章で表し、友達に伝えたことを確認する。</li> </ul>
	<p>【関】自分の体験を思い出し、友達に伝えるための文章を書こうとしている。</p> <p>【書】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験を詳しく思い出して、書くことを集めている。</li> <li>・体験とそのときに感じたことが、読む人に伝わるように三文程度で書いている。</li> </ul> <p>【言】長音、拗音や助詞「は・を・へ」を正しく表記している。</p>	
9月	<p><b>単元名・教材名</b> いちねんせいのうた（2）</p> <p><b>指導目標</b> ◎語のまとまりや言葉の響きなどを考えながら、工夫して音読することができる。</p> <p><b>言語活動</b> ■音読する。</p>	
	<p>学習活動</p> <p>1 「いちねんせいのうた」を声に出して読むことを楽しむ。</p> <p>2 「いちねんせいのうた」を丁寧に視写して読む。</p>	<p>指導上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・声の大きさ、速さ、読む人数などを工夫したり、動作をつけたりして読むことを楽しませる。</li> </ul>
	<p>（関）詩に興味をもち、楽しんで読もうとしている。</p> <p>（読）内容や言葉の響きを考えながら工夫して音読している。</p> <p>（言）語のまとまりをとらえて平仮名を読んでいる。</p>	
9月	<p><b>単元名・教材名</b> なつやすみのことをはなそう（4）</p> <p><b>指導目標</b> ◎経験の中からみんなに話したいことを選び、話の順序を考えながら、丁寧な言葉を使って話すことができる。</p> <p>◎話の大事なことを落とさないように興味をもって聞くことができる。</p> <p><b>言語活動</b> ■経験したことを報告したり、それらを聞いて感想を述べたりする</p>	
	<p>学習活動</p> <p>1 学習の見通しをもつ。</p> <p>2 P100 の挿絵を参考に、夏休みの出来事を思い出し、題材を決める。</p> <p>3 知らせたいことの内容を考える。</p> <p>4 聞くときのマナーについて話し合う。</p> <p>5 グループに分かれて夏休みの経験を発表する。</p> <p>6 学習を振り返る。</p>	<p>指導上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P101 を見て夏休みの経験を話す際の具体的なイメージをもつ。</li> <li>・「ともだちにつたわるように、なつやすみのことをはなそう」という学習課題を確認する。</li> <li>・話すときに見せたい物や写真がある場合は、準備する。</li> <li>・P101 を参考に、内容や話し方、準備物を考えて練習する。</li> <li>・質問をすると、より分かることに気づく。</li> <li>・音声CDを聞き、話し方や質問のしかたを知る。</li> <li>・発表を聞く人は、質問をしたり感想を言ったりする。</li> <li>・話したり聞いたりするときに気をつけたことを確かめながら、教師の話聞く。</li> </ul>
	<p>【関】夏休みに経験したことをみんなに知らせることに興味をもって取り組もうとしている。</p> <p>【話・聞】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みの出来事から題材を決めている。</li> </ul> <p>友達に伝わるように話す事柄を順序立てて丁寧な言葉で話している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話す友達の方を見ながら、最後まで静かに聞いている。</li> </ul> <p>【言】「です」「ます」を用いて丁寧な言葉で話している。</p>	
9月	<p><b>単元名・教材名</b> ひらがなあつまれ（2）</p> <p><b>指導目標</b> ◎平仮名を読んだり書いたりすることができる。</p> <p><b>言語活動</b> ■みんなで言葉遊びをする。</p>	
	<p>学習活動</p> <p>1 P102 の表を見て、縦、横、斜めに隠れている言葉を見つける。</p>	<p>指導上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見つけた言葉をノートに書き写し、発表する。</li> </ul>

	2 P103 を読んで、グループでしりとりや言葉集めを楽しむ。	
	【関】進んで言葉を探し、書こうとしている。 【言】平仮名の大体を読んで書いている。	
9月	<b>単元名・教材名</b> おはなしを たのしもう ゆうやけ (8)	
	<b>指導目標</b> ◎登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むことができる。 ○文章の内容と自分の経験を結び付け、自分の思いや考えを發表することができる。 ・言葉には経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる	
	<b>言語活動</b> ■文章を楽しんだり、想像を広げたりしながら読む。	
	<b>学習活動</b>	<b>指導上の留意点</b>
	1 学習の見通しをもつ。  2 教師の範読や朗読CDを聞き、感想を發表する。 3 教材文を読み、内容を捉える。  4 好きな場面を音読する。  5 きつねの子と自分の似ているところを發表する。 6 学習を振り返る。	・「夕焼け」という言葉から連想することや、想起する体験を出し合う。 ・「おはなしのすきなところを こえにだしてよもう」という学習課題を確認する。  ・題名と作者、登場人物を確認する。 ・登場人物の言動を押さえながら、話の展開を整理する。 ・いちばん好きな場面を選ぶ。 ・自分の体験と重ねたり、登場人物の気持ちを想像したりしながら、読み方を工夫する。 ・音読するときに、その場面を選んだ理由を話す。 ・音読を聞いた感想を伝え合う。  ・登場人物の気持ちを想像しながら、音読したことを確かめる。
	【関】物語を楽しみ、好きなところを話したり、友だちと協力してよい音読にしようとしていたりしている。 【読】 ・登場人物やその行動を捉えている。 ・好きな場面を選び、そのわけを話している。 ・物語の内容と関連する体験を思い出して自分の思いや考えを話している。 【言】言葉によって体験が伝えられることに気づいている。	
9月	<b>単元名・教材名</b> かたかなを みつけよう (2)	
	<b>指導目標</b> ◎片仮名の語を正しく読んだり書いたり、片仮名で書く語を使った文を書いたりすることができる。 <b>言語活動</b> ■片仮名を書く。	
	<b>学習活動</b>	<b>指導上の留意点</b>
	1 「あさのしたく」を繰り返し音読し、読み慣れる。 2 片仮名で書く言葉を集める。  (関)身近な片仮名に気づき、進んで探そうとしている。 (書)語のまとまりを意識して書いている。 (言)教科書に提示された片仮名を正しく読んだり書いたりしている。	・身の回りの写真、ちらしなどから片仮名で書く語を集め、ノートやカードに書かせる。
10月	<b>単元名・教材名</b> よんで たしかめよう うみの かくれんぼ (8)	
	<b>指導目標</b> ◎事柄の順序や文章構成上の順序を考えながら読むことができる。 ○文章の内容と自分の経験を結び付けて読むことができる。 ○主語と述語の関係や、漢字の読み方に注意して文章を読むことができる。 <b>言語活動</b> ■生き物の図鑑や科学読み物を読む。	
	<b>学習活動</b>	<b>指導上の留意点</b>
	1 学習の見通しをもつ。  2 教材文を読む。  3 生き物の隠れ場所と隠れる方法を確認する。 4 内容や構成について気づいたことや感想を交流する。 5 図鑑や科学読み物を読み、他の生き物について調べ、友	・「くちばし」が、「問い」と「答え」のある文章だったことを思い出す。 ・生活科などで、生き物を見つけたときのことを出し合う。 ・P114・115 の写真を見た後で「みつけた いきものをともだちに わかりやすく おしえよう」という学習課題を確認する。 ・最初の「問い」で問われていることを確かめる。 ・3種類の海の生き物が出てくることを確かめる。 ・1文目に海の生き物とその隠れ場所、2文目に体の仕組みや機能、3文目に隠れる方法が書かれていることに気づく。

	<p>達に知らせる。 6学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味のある生き物について、「1隠れる場所・2体の仕組み・3隠れる方法」を見つける。</li> <li>・何が、どこに、どのようにして隠れているかを、順序に気をつけて読んだことを確かめる。</li> </ul>
	<p>【関】説明文を進んで読んだり、図鑑や科学読み物で調べたりしようとしている。</p> <p>【読】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問いかげがどんな事柄を取り上げているかを理解している。</li> <li>・事柄の順序に気をつけて読み、何が書かれているかを捉えている。</li> <li>・自分の体験と結び付けて読んでいる。</li> </ul> <p>【言】主語と述語の関係を理解している。</p>	
10月	<p><b>単元名・教材名</b> たかずと かんじ (4)</p>	
	<p><b>指導目標</b> ◎一から十までの漢字を読んだり書いたりすることができる。 ・数を表す漢字やいろいろな数え方を書くことができる。</p>	
	<p>学習活動</p>	<p>指導上の留意点</p>
	<p>1 教科書の数え歌をリズムカルに楽しく読む。 2 数を表す漢字を練習する。 3 身の回りにあるものを数えてノートに書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数に合わせて、子ぶたの鳴き声を入れる。</li> <li>・読み方が複数あることを知る。</li> <li>・それぞれの数え方を友達と確かめ合う。</li> <li>・皿、りんご、鉛筆などの数え歌を作る。</li> </ul>
	<p>【関】数え歌や数を漢字で書くことを楽しもうとしている。</p> <p>【書】数を表す漢字には幾つかの読み方があることを理解して数え歌を作り書いている。</p> <p>【言】一から十の漢数字を用いて数を表し、ものによって適切な助数詞を使っている。</p>	
10月	<p><b>単元名・教材名</b> こえに だして よもう くじらぐも (8)</p>	
	<p><b>指導目標</b> ◎場面の様子を想像し、その様子が表れるように声に出して読んだり、感じたことを手紙に書いたりすることができる。</p>	
10月	<p><b>言語活動</b> ■想像を広げて読む。</p>	
	<p>学習活動</p>	<p>指導上の留意点</p>
	<p>1 扉の詩を声に出して読み、目次を見て下巻の見通しをもつ。 2 学習の見通しをもつ。 3 教材文を読み、あらすじを捉える。 4 音読を楽しむ。</p> <p>5 くじらぐもに乗って空を旅する子どもになって、雲の上での会話を想像し、吹き出しに書く。</p> <p>6 音読を発表し合う。</p> <p>7 学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「大きなかぶ」で役を決めて音読したことを思い出す。</li> <li>・題名と挿絵から想像を広げ、お話に興味をもつ。</li> <li>・「やくにわかれて、おんどくをたのしもう」という学習課題を確認する。</li> <li>・挿絵を手がかりに想像を広げながら、教師の範読を聞き、あらすじを捉える。</li> <li>・教師に続いて読んだり、リレー読みをしたりする。</li> <li>・「いいな」「すきだな」と思ったところを伝え合う。</li> <li>・子どもとくじらぐもの会話文を想像し、どのように音読するか考える。</li> <li>・役になりきって音読の練習をし、動作を入れるなど工夫して音読する。</li> <li>・「くじらぐも」に飛び乗ろうとする子供たちの様子を動作化しながら読み取らせる。</li> <li>・「くじらぐも」に乗って空を旅する子供になって、想像した会話を吹き出しに書かせる。</li> <li>・好きな場面を選び、グループで役を決めて音読の練習をする。</li> <li>・互いのよかったところや音読をして楽しかったことなど感想を交流する。</li> <li>・役になって工夫した音読ができたかを確かめる。</li> </ul>
	<p>【関】想像を広げながら、物語を楽しんで読もうとしている。</p> <p>【読】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会話文を工夫しながら、場面の様子がよく分かるように音読している。</li> <li>・場面の様子や登場人物の行動について、好きなところを見つけながら読んでいる。</li> </ul> <p>【言】会話はかぎ(「 」)を使って書くことを知り、句読点やかぎを正しく用いて書いている。</p>	
10月	<p><b>単元名・教材名</b> よく見て かこう しらせたいな、見せたいな (10)</p>	
11月	<p><b>指導目標</b> ◎書こうとする題材に必要なことをよく観察して書くことができる。 ◎書いた文を読み返す習慣をつけ、間違いを見付けることができる。</p>	
	<p><b>言語活動</b> ■観察したことを記録する文章を書く。</p>	
	<p>学習活動</p>	<p>指導上の留意点</p>

	<p><b>1</b> 単元名から学習の見通しをもち、教材文を読んで、学習内容を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知らせたいものを、友達や家の人に知らせるために、よく見て、分かりやすい文章を書くことを理解する。</li> </ul> <p><b>2</b> 知らせたいことを見付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内を探検し、家の人に知らせたいことを見付ける。</li> <li>・何について、だれに知らせるかを決める。</li> </ul> <p><b>3</b> 取材メモの書き方を理解し、絵や言葉を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書P18を見て、取材メモの書き方を知る。</li> <li>・ノートやワークシートに簡単な絵をかき、名前や色、形、様子などを書き入れる。</li> </ul> <p><b>4</b> 知らせたいことを、どのように文章にするのかを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の作例を読み、何がどのように書かれているかをP18のカードと比べながら理解する。</li> </ul> <p><b>5</b> 取材メモを使って文章を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書きたいことを一文カードに書く。</li> </ul> <p><b>6</b> 文章の組み立てを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一文カードを並べ、どういう順序で文章にするかを考える。</li> </ul> <p><b>7</b> 「知らせたいこと」を文章に書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・並べた一文カードを見ながら、文章を書く。</li> </ul> <p><b>8</b> 書いた文章を読み直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P20を参考に、句読点や文字が正しく書けているか必要に応じて直す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「だれに」「何を」「どのように」知らせるのかをはっきりさせ、学習の見通しをもたせて意欲を高める。</li> <li>・「練馬の子ら」の作品を読み、イメージをもたせるとよい。</li> <li>・予め題材になりそうなものを探しておき、自分で知らせたいものが見付けられない児童に助言する。</li> <li>・絵をかくことによって知らせたいものをよく観察することができるので、時間を十分に取る。</li> <li>・カードに書いてある言葉とそれに対応する文に同じ色でサイドラインを引かせると分かりやすい。</li> <li>・ただらとした文にならないようにするために、一枚のカードに一文だけを書かせるようにする。(一文カード)</li> <li>・一文カードはノートやワークシートにはらせておく。</li> <li>・書いた文章を自分で読み直したり、友達と読み合ったりして、確かめたことをチェックさせる。</li> <li>・知らせたかった人に文章を読んでもらい、感想を書いてもらう。</li> </ul>
	<p>(関) 好きな動物や植物を見つけて、家の人や友達に書いて知らせようとしている。</p> <p>(書) 気付いたことを単語や簡単な文で書き表している。教科書のモデル文を見て、同じように書いている。句読点や文字の間違いなどを読み返している。</p> <p>(言) 句読点や文字を正しく表記している。</p>	
11月	<p><b>単元名・教材名</b> まちがいをなおそう(2)</p>	
	<p><b>指導目標</b> ◎書いた文章を読み返したり、間違いを正しく直したりすることができる。</p>	
	<p>指導上の留意点</p>	<p>学習活動</p>
	<p>1 これまでの学習を振り返る。</p> <p>2 P21の文章例を読み、文字の間違いを直す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「知らせたいな、見せたいな」の学習で、文章を読み返して間違いに気づいた経験や日常的に文章を読み返す習慣がついているかを振り返る。</li> <li>・友達と交換し、確認し合う。</li> <li>・出来事を知らせる簡単な文章を書き、読み返し、間違いがあれば直すなどの学習にも広げられる。</li> </ul>
	<p>【関】 書いた文章を読んで間違いを見つけたり、正しく直したりしようとしている。</p> <p>【書】 書いた文章を読み返し、間違いを正しく直している。</p> <p>【言】 助詞の「は」「を」「へ」や長音、拗音、促音、撥音を文章の中で正しく使っている。</p>	
	<p><b>単元名・教材名</b> かん字のはなし(5)</p>	
	<p><b>指導目標</b> ◎第一学年に配当されている漢字を読んだり書いたりし、漢字を使った文を、続き方に注意して書くことができる。</p>	
	<p>学習活動</p>	<p>指導上の留意点</p>
	<p>1 教科書を読み、漢字の成り立ちを知る。</p> <p>2 教材文に出ている漢字の書き方を学び、練習する。</p> <p>3 例文にある絵を漢字に直し、ノートに視写する。</p> <p>4 P24の例文のように、習った漢字を使って短文を作る。</p> <p>5 作った短文を友達と読み合い、交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P22-23の挿絵を見て、なんの絵がかいてあるかを確認する。</li> <li>・P22-23を読み、絵と漢字を見比べて、漢字の成り立ちを学ぶ。</li> <li>・P24-25の絵を言葉に直しながら、声に出して読む。</li> <li>・字形や書き順に気をつけて、新出漢字を一字ずつ丁寧に練習する。</li> </ul>
	<p>【関】 絵や印からできた漢字の成り立ちについて進んで知ろうとしている。</p>	

	<p>【書】語と語の続き方に気をつけて短文を書いている。</p> <p>【言】教材文に出てくる漢字を正しく読み、文の中で適切に使っている。</p>				
	<p><b>単元名・教材名</b> <b>ことばを見つけよう (2)</b></p> <p><b>指導目標</b> ◎文の中に隠れた言葉を補いながら言葉遊びの文を読んだり、意味を考えながら言葉遊びの文を作ったりすることができる。</p> <p>・文字を組み合わせると意味のある言葉になることに気づくことができる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>1 教材で行う言葉遊びの仕組みを理解する。</p> <p>2 □に言葉を入れて、言葉の調子を楽しみながら全文を音読する。</p> <p>3 「□がいる。」「□がある。」という文を作る。</p> </td> <td> <p>・「かばんの なかには、かばが いる。」の意味を理解し、「□がいる。」に入る言葉を考える。</p> <p>・「みかんの なかには、かんが ある。」の意味を理解し、「□がある。」に入る言葉を考える。</p> <p>・「□が」と「いる。」「ある。」が呼応していることを理解する。</p> <p>・「いる」と「ある」の使い方の違いを考える。</p> <p>・作った文を交流し、「ことばあそび」を楽しむ。</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p>【関】言葉遊びの楽しさに気づき、進んで音読したり、作ったりしようとしている。</p> <p>【言】文字を組み合わせて言葉でできることや、一字違うだけで別の意味になることを理解している。</p>	学習活動	指導上の留意点	<p>1 教材で行う言葉遊びの仕組みを理解する。</p> <p>2 □に言葉を入れて、言葉の調子を楽しみながら全文を音読する。</p> <p>3 「□がいる。」「□がある。」という文を作る。</p>	<p>・「かばんの なかには、かばが いる。」の意味を理解し、「□がいる。」に入る言葉を考える。</p> <p>・「みかんの なかには、かんが ある。」の意味を理解し、「□がある。」に入る言葉を考える。</p> <p>・「□が」と「いる。」「ある。」が呼応していることを理解する。</p> <p>・「いる」と「ある」の使い方の違いを考える。</p> <p>・作った文を交流し、「ことばあそび」を楽しむ。</p>
学習活動	指導上の留意点				
<p>1 教材で行う言葉遊びの仕組みを理解する。</p> <p>2 □に言葉を入れて、言葉の調子を楽しみながら全文を音読する。</p> <p>3 「□がいる。」「□がある。」という文を作る。</p>	<p>・「かばんの なかには、かばが いる。」の意味を理解し、「□がいる。」に入る言葉を考える。</p> <p>・「みかんの なかには、かんが ある。」の意味を理解し、「□がある。」に入る言葉を考える。</p> <p>・「□が」と「いる。」「ある。」が呼応していることを理解する。</p> <p>・「いる」と「ある」の使い方の違いを考える。</p> <p>・作った文を交流し、「ことばあそび」を楽しむ。</p>				
11月	<p><b>単元名・教材名</b> <b>くらべて よもう じどう車くらべ (1 2)</b></p> <p><b>指導目標</b> ◎知識を得るために、事柄の順序を考えながら内容の大体を読み、文章の中の大事な言葉や文を書き抜くことができる。</p> <p>◎ことからの順に沿って、簡単な構成を考え、句読点を使ってつながりのある文を書くことができる。</p> <p><b>言語活動</b> ■事物の仕組みなどについて説明した文章を読む。■身近な事物を簡単に説明する文章を書く。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>1 「じどう車カード」を作ることを知る。</p> <p>2～5 「しごと」「つくり」を確かめながら読む。</p> <p>6～7 はしご車の「しごと」「つくり」を調べて書く。</p> <p>8～11 選んだ自動車の「しごと」「つくり」を文章に書く。</p> <p>12 友達と読み合い、感想を書く。</p> </td> <td> <p>・画用紙に、それぞれの自動車の部分を視写し、余白に絵をかかせる。</p> <p>・選んだ自動車についても、同様に「しごと」「つくり」を書き、絵を入れてカードを作らせる。</p> <p>・様々な自動車の絵本や図鑑を用意しておく。</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p>【関】自動車について説明されている絵本や図鑑、文章などを読み、進んで調べようとしている。</p> <p>【読】</p> <p>・事柄の順序を考えながら読み、必要な言葉や文を書き抜いている。</p> <p>・調べるために本や文章を選んで読んでいる。</p> <p>【書】「そのために」を使って文と文をつなぎ、自動車の「しごと」と「つくり」を説明する文章を書いている。</p> <p>【言】片仮名を正しく書き、文の中で助詞「は」「へ」「を」や句読点を適切に用いている。</p>	学習活動	指導上の留意点	<p>1 「じどう車カード」を作ることを知る。</p> <p>2～5 「しごと」「つくり」を確かめながら読む。</p> <p>6～7 はしご車の「しごと」「つくり」を調べて書く。</p> <p>8～11 選んだ自動車の「しごと」「つくり」を文章に書く。</p> <p>12 友達と読み合い、感想を書く。</p>	<p>・画用紙に、それぞれの自動車の部分を視写し、余白に絵をかかせる。</p> <p>・選んだ自動車についても、同様に「しごと」「つくり」を書き、絵を入れてカードを作らせる。</p> <p>・様々な自動車の絵本や図鑑を用意しておく。</p>
学習活動	指導上の留意点				
<p>1 「じどう車カード」を作ることを知る。</p> <p>2～5 「しごと」「つくり」を確かめながら読む。</p> <p>6～7 はしご車の「しごと」「つくり」を調べて書く。</p> <p>8～11 選んだ自動車の「しごと」「つくり」を文章に書く。</p> <p>12 友達と読み合い、感想を書く。</p>	<p>・画用紙に、それぞれの自動車の部分を視写し、余白に絵をかかせる。</p> <p>・選んだ自動車についても、同様に「しごと」「つくり」を書き、絵を入れてカードを作らせる。</p> <p>・様々な自動車の絵本や図鑑を用意しておく。</p>				
12月	<p><b>単元名・教材名</b> <b>かたかなをかこう (2)</b></p> <p><b>指導目標</b> ◎片仮名の語を正しく読んだり、片仮名で書く語を使った文を書いたりすることができる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>1 身近な物の中で、片仮名で表記する語を出し合う。</p> <p>2 教科書にある片仮名で表記する語をノートに書く。</p> <p>3 片仮名で表記する語を集め、短文を作る。</p> <p>4 作った短文を友達と交流する。</p> </td> <td> <p>・片仮名の長音や拗音、促音の表し方を確認する。</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p>【関】身近な物の中に片仮名で表されているものがあることに気づき、進んで探そうとしている。</p> <p>【書】語と語の続き方に気をつけて書いている。</p> <p>【言】片仮名の長音や拗音、促音の表し方を理解し、正しく読んだり書いたりしている。</p>	学習活動	指導上の留意点	<p>1 身近な物の中で、片仮名で表記する語を出し合う。</p> <p>2 教科書にある片仮名で表記する語をノートに書く。</p> <p>3 片仮名で表記する語を集め、短文を作る。</p> <p>4 作った短文を友達と交流する。</p>	<p>・片仮名の長音や拗音、促音の表し方を確認する。</p>
学習活動	指導上の留意点				
<p>1 身近な物の中で、片仮名で表記する語を出し合う。</p> <p>2 教科書にある片仮名で表記する語をノートに書く。</p> <p>3 片仮名で表記する語を集め、短文を作る。</p> <p>4 作った短文を友達と交流する。</p>	<p>・片仮名の長音や拗音、促音の表し方を確認する。</p>				
12月	<p><b>単元名・教材名</b> <b>まの いい りょうし (1)</b></p> <p><b>指導目標</b> ◎登場人物の行動を中心に、場面の様子を想像することができる。</p> <p><b>言語活動</b> ■昔話の読み聞かせを聞く。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>1 挿絵をじっくり見ながら、読み聞かせを聞く。</p> </td> <td> <p>・挿絵の拡大カラーコピーを見せながら読む。</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p>(関) 登場人物の行動の行動を楽しんで聞こうとしている。</p> <p>(読) 場面の様子や人物の行動を想像しながら聞き、話の大体の内容をとらえている。</p>	学習活動	指導上の留意点	<p>1 挿絵をじっくり見ながら、読み聞かせを聞く。</p>	<p>・挿絵の拡大カラーコピーを見せながら読む。</p>
学習活動	指導上の留意点				
<p>1 挿絵をじっくり見ながら、読み聞かせを聞く。</p>	<p>・挿絵の拡大カラーコピーを見せながら読む。</p>				
12	<p><b>単元名・教材名</b> <b>ほんは ともだち むかしばなしがいっぱい (3)</b></p>				

月	<b>指導目標</b> ◎日本や外国の昔話を讀んだり、読み聞かせを聞いたりし、お話の好きなところを紹介することができる。	
	<b>言語活動</b> ■讀んだ本について、好きなところを紹介する。	
	学習活動	指導上の留意点
	<p>1 教科書の絵を見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知っているお話について発表する。</li> <li>・日本の昔話の中で、読みたいお話や読んでもらいたいお話に印をつける。</li> <li>・外国の昔話の中で、読みたいお話や読んでもらいたいお話に印をつける。</li> </ul> <p>2 印をつけたお話を図書館で探して読む。</p> <p>3 P45「おはなしノート」を見て、読書記録のつけ方を知り、讀んだお話について記録する。</p> <p>4 おもしろかったお話をを選び、好きなところを友達と紹介し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の絵にあるお話や様々な昔話の本を集めて、「昔話コーナー」を作り、読書環境を整えておく。</li> <li>・地域図書館の団体貸し出しを利用するのもよい。</li> <li>・保護者や地域の方に読み聞かせをしてもらうのも児童の関心が高まる。</li> <li>・読書記録は児童の負担にならないように、簡単な内容にする。</li> <li>・読書記録は継続して行い、時々紹介し合うと読書意欲が高まる。</li> <li>・3～4人程度のグループを作る。</li> <li>・歌、指人形、劇、ペープサート、絵など児童にできそうな方法が選べるように助言する。</li> <li>・話の好きなところや内容が話せるように助言する。</li> <li>・児童が発表することを楽しめるように、音楽や演出を工夫するとよい。</li> <li>・発表する話の本を用意し、興味をもった児童が読めるようにしておく。</li> </ul>
<p>【関】日本や外国の昔話を楽しみ、読みたい本を進んで自分で探して読もうとしている。</p> <p>【読】読みたい本を選んで読み、自分の経験や読書体験と結び付けて、感想を述べている。</p> <p>【言】昔話のおもしろさや語り口調、言い回しに親しんでいる。</p>		
12月	<b>単元名・教材名</b>	きいて しらせよう ともだちに、きいて みよう(4)
	<b>指導目標</b> ◎話す順序を考えながら、丁寧な言葉で話したり、大事なことを落とさずに聞いたりすることができる。 ○友達に取材をして、紹介するために必要な事柄を集めることができる。	
	<b>言語活動</b> ■尋ねて分かったことを紹介する。	
	学習活動	指導上の留意点
<p>1 学習の見通しをもつ。</p> <p>2 友達に質問する。</p> <p>3 友達のことを紹介する練習をする。</p> <p>4 「みんなのたのしいこと」発表会を開く。</p> <p>5 学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材文を読み、「ともだちに、いちばんたのしい ことをきいて、みんなにしらせよう」という学習課題を確認する。</li> <li>・音声CDを聞いて、友達への尋ね方を学ぶ。</li> <li>・友達から聞いたことをノートにメモする。</li> <li>・音声CDを聞いて、紹介のしかたを学ぶ。</li> <li>・聞いたことをもとに、話す順序を考える。</li> </ul> <p>・初めて知った驚いたことや、分かりやすい紹介のしかたについて、感想を交流する。</p>	
<p>【関】紹介するために必要なことを進んで尋ねたり、それに答えたりしようとしている。</p> <p>【話・聞】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすいように話の順序を考えながら、丁寧な言葉遣いで話している。</li> <li>・「いつ」「どこで」「誰が」「何を」などを使って尋ね、大事なことを落とさないように、友達の答えをノートに書いている。</li> </ul> <p>【言】聞いたことを伝えるときの話し方を理解している。</p>		
12月	<b>単元名・教材名</b>	日づけと よう日(3)
	<b>指導目標</b> ◎日づけの歌を楽しく唱え、言葉のまとまりに気付くことができる。 ◎語と語の続き方に注意しながら、なじみの深い日づけを自由に書くことができる。	
	<b>言語活動</b> ■日づけや曜日を読んだり書いたりする。	
	学習活動	指導上の留意点
<p>1 日づけの読み方を理解してノートに書き、日づけ歌を楽しく唱える。</p> <p>2 曜日歌の読み方と書き方を理解してノートに書き、日づけ歌を楽しく唱える。</p> <p>3 自分で日づけ歌や曜日歌を作り、発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声の大きさ、速さ、読む人数などを工夫し、何度も唱えて暗唱させる。</li> <li>・正しく視写させる。</li> <li>・学校行事、誕生日、地域の祭りなど、児童にとってなじみの深い日づけを思い出させる。</li> </ul>	
<p>【関】1年や1週間を表す言葉に親しみながら、日づけや曜日歌を楽しんで作ろうとしている。</p> <p>【書】語と語の続き方に注意しながら、自分の日づけ歌、曜日歌を作っている。</p> <p>【言】日づけや曜日を表す言葉を、正しい漢字を使って書いている。</p>		
12	<b>単元名・教材名</b>	本はともだち ずうっと、ずっと、大すきだよ(8)

月	<b>指導目標</b> ◎文と文のつながりに気を付けて、紹介したい本のカードを書いたり、書いたカードを読み合っ楽しんですることができる。 ◎場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むことができる。	
	<b>言語活動</b> ■本や文章を、楽しんだり想像を広げたりしながら読む。	
	学習活動	指導上の留意点
	1物語を読んで内容の大体をつかむ。 2～4エルフの様子の変化と「ぼく」の気持ちを読み取る。 5～6自分が好きな本を友達に紹介する準備をする。 7～8「わたしのおすすめの本」を書き、友達に知らせる。	・挿絵と文章を対応させて、「ぼく」と「エルフ」がしたことを押さえ、「ぼく」の気持ちを想像させる。 ・内容や好きなところなどをカードに書かせる。
(関)本を紹介することを楽しもうとしている。 (読)登場人物のつながりに気を付けて物語を読もうとしている。 (書)物語の内容や好きなところをカードに書いている。 (言)本を紹介するときに必要な言葉を理解している。		
1月	<b>単元名・教材名</b> てんとむし(2)	
	<b>指導目標</b> ◎語のまとまりごとに意味を考えながら音読することができる。	
	<b>言語活動</b> ■詩を読む。	
	学習活動	指導上の留意点
1～2詩を写視し絵をかいて、いろいろな味わい方で詩を音読して楽しむ。	・動作化したり、暗唱したりして様々な味わい方を楽しませる。	
(関)話しかけるように読むなど、読み方を工夫しようとしている。 (読)どんな声で読むのか声の出し方を工夫して音読している。 (言)語のまとまりをとらえて、平仮名をすらすらと読んでいる。		
1月	<b>単元名・教材名</b> ものの名まえ(6)	
	<b>指導目標</b> ○客と店の人になって売り買いのやり取りをし、尋ねたり応答したりすることができる。 ◎意味による語句のまとまりや上位語・下位語の関係に気づくことができる。	
	<b>言語活動</b> ■尋ねたり応答したりする。	
	学習活動	指導上の留意点
1学習の見通しをもつ。 2教材文を読み、物の名前に上位語と下位語があることを理解する。 3「お店やさんごっこ」の準備をする。 4「お店やさんごっこ」をする。 5学習を振り返る。	・買い物をしたときの経験を出し合い、店での言葉のやり取りに関心をもつ。 ・P70-71を見て、「がくしゅうを生かして、おみせやさんごっこをしよう」という学習課題を確認する。 ・身の回りの物の名前を集め、上位語と下位語に分けてノートにまとめる。 ・集めた言葉を発表し合う。 ・グループになり、開きたいお店について考える。 ・店で売る品物の、絵と名前をカードに書き、店の看板を作る。 ・教科書を参考にして、「お店の人」と「お客さん」の話し方を練習する。 ・「お店の人」と「お客さん」の言葉のやり取りを楽しむ。 ・上位語と下位語の関係や、お店での尋ね方と答え方が分かったかを確認する。	
【関】物の名前や「お店やさんごっこ」に興味をもち、進んで話したり聞いたりしようとしている。 【話・聞】品物を売るときの言葉や買うときの言葉を丁寧に使い、客と店の人になって、尋ねたり応答したりしている。 【言】上位語と下位語の関係を理解し、お店の看板には上位語に当たる言葉を、品物には下位語に当たる言葉を書いている。		
1月	<b>単元名・教材名</b> かたかなのかたち(3)	
	<b>指導目標</b> ◎平仮名と関係付けて片仮名を書いたり、形の似た仮名の区別に注意して書いたりすることができる。	
	<b>言語活動</b> ■片仮名を書く。	
	学習活動	指導上の留意点
1形の似ている片仮名を区別して書く。 2身の回りの片仮名を探したり、片仮名を使って文を作ったりする。	・「ソ」と「ン」、「ツ」と「シ」は間違えやすいので、丁寧に指導する。	
【関】形の似ている片仮名や平仮名に興味をもち、身の回りから進んで片仮名を見つけようとしている。 【書】片仮名で書く言葉を使って文を書いている。 【言】字形に注意して、片仮名を正しく書いている。		

	<b>単元名・教材名</b>	<b>てがみを かこう</b> てがみで しらせよう (3)
	<b>指導目標</b>	◎経験したことから書く題材をきめ、文と文の続き方に注意して書くことができる。 ・句読点の打ち方や主語と述語の関係に注意して書くことができる。
	<b>言語活動</b>	■簡単な手紙を書く。
		学習活動 指導上の留意点
	1 学習の見通しをもつ。 2 誰に、どんなことを知らせるのか考える。 3 P74・75の作例を参考に、手紙の書き方を知る。 4 手紙を書く。 5 学習を振り返る。	・手紙を書いたり、もらったりした経験を出し合う。 ・教材文を読み、「うれしかったことやたのしかったことを、てがみにかいてしらせよう」という学習課題を確認する。 ・相手と書く題材を決め、必要な事柄を集める。  ・手紙の内容に合う絵を描いてもよい。 ・手紙を出したり、渡したりする。 ・手紙を書いた感想を交流する。 ・手紙の書き方に沿って、自分の気持ちを書くことができたかを確認する。
	<b>【関】</b> 手紙の書き方を理解し、進んで書こうとしている。 <b>【書】</b> ・伝えたい相手に応じて、経験したことから、嬉しかったことや楽しかったことを思い出し、必要な事柄を集めている。 ・文と文の続き方に注意し、簡単な構成を考えて手紙を書いている。 <b>【言】</b> 句読点の打ち方や、主語と述語の関係に注意して、敬体を使って書いている。	
1 〜 2 月	<b>単元名・教材名</b>	<b>おはなしを たのしもう</b> たぬきの 糸車 (8)
	<b>指導目標</b>	◎場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げ、お話を楽しみながら読むことができる。 ○語のまとまりや言葉の響きなどについて考えながら音読することができる。 ・主語と述語の関係に気をつけて読んでいる。
	<b>言語活動</b>	■楽しんだり、想像を広げたりしながら読む。
		学習活動 指導上の留意点
	1 学習の見通しをもつ。 2 教材文を読み、感想を発表し合う。 3 挿絵と文を対応させながら読む。 4 好きな場面を選び、音読の発表をする。 5 学習を振り返る。	・「糸車」「糸を紡ぐ」「障子」など児童にとって身近でない言葉については挿絵や補足によって理解させる。 ・音読の工夫を振り返り、「むかしばなしをこえにだしたのしもう」という学習課題を確認する。 ・教師の範読を聞いたり、音読したり、自分で読んだりする。 ・たぬきが糸車を回す様子を動作化しながら読み取らせる。 ・読み方を工夫したり、動作化したりして音読の練習をする。 ・みんなの前で、選んだ場面を音読する。 ・登場人物の行動を想像したり、動作化したりして楽しく読めたことを確認する。
	<b>【関】</b> 登場人物の行動を考えながら、昔話を楽しんで読もうとしている。 <b>【読】</b> ・場面の様子や登場人物の行動について想像を広げながら読んでいる。 ・想像したことをもとに、語のまとまりや言葉の響きに気をつけて音読している。 <b>【言】</b> 「誰が」「何をした」のかを的確に読み取っている。	
	<b>単元名・教材名</b>	<b>ことばを たのしもう (2)</b>
	<b>指導目標</b>	◎音節と文字の関係や単語とそれを構成する文字の関係に気付くことができる。
	<b>言語活動</b>	■声に出して読む。
		学習活動 指導上の留意点
	1～2詩を味わいながら声に出して読んだり、早口言葉を調子よくはっきり読んだりする。	・その他の早口言葉を集めて練習し、楽しめるようにさせる。
	<b>【関】</b> 言葉遊びを楽しんだり、早口言葉に進んで挑戦しようとしていたりしている。 <b>【言】</b> 言葉遊びや早口言葉を通して、拗音を除けば、原則として1文字が1音節(拍)に対応することに気づいている。	
2 月	<b>単元名・教材名</b>	<b>ふたりでかがえよう</b> これは、なんでしょう (4)
	<b>指導目標</b>	◎話題に沿って話し合い、分からないことを尋ねたり、それに答えたりすることができる。

○身近なものの中から問題にするものを選び、必要な事柄を集めることができる。	
<b>言語活動</b> ■ 尋ねたり応答したり、二人で話し合っって考えを一つにまとめたりする。■ 事物の説明をする。	
学習活動	指導上の留意点
1 学習の見通しをもつ。 2 二人組をつくり、クイズの問題を考える。 3 問題の出し方を話し合う。 4 「これは、なんでしょう」クイズ大会をする。 5 学習を振り返る。	・教師が問題を出して、興味・関心を高める。 ・教師からの問題を聞いたり、教材文を読んだりして、クイズの大まかなルールを把握する。 ・「ふたりで、もんだいをかながえて、クイズ大かいをしよう」という学習課題を確認する。 ・ものの特徴の視点を整理して板書しておく。 ・問題にするものを決める。 ・決めたものの特徴（色や形、はたらき、様子など）をノートに書き出す。 ・音声CDを聞いて問題の出し方を確かめ、話し合いのしかたを学ぶ。 ・書き出したことをどのような順番で言うのかを決め、練習する。 ・ゲームの進め方を分かりやすく掲示しておく。 ・問題の出し方について、感想を交流する。 ・二人で考えを出し合っって、一つにまとめるときにどのようなことが大切かを確かめる。
【関】 問題作りを楽しみ、進んで話し合おうとしている。	
【話・聞】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な物の中から題材を選び、事物の特徴を集めている。</li> <li>・互いの考えを終わるまで聞き、話題に沿って話し合っている。</li> <li>・問題を聞いて分からないところを質問したり、適切に答えたりしている。</li> </ul>	
【言】 物の特徴を表す語句を理解している。	
2月	<b>単元名・教材名</b> ちがいをかながえて よもう どうぶつの赤ちゃん（10）
<b>指導目標</b> ◎時間的な順序や事柄の順序を考えながら、内容の大体を読み、本や文章から大事な言葉や文を書きぬくことができる。 ・主語と述語の関係に注意して、敬体で書かれた説明を理解できる。	
<b>言語活動</b> ■ 説明文を読み、感想をまとめる。	
学習活動	指導上の留意点
1 学習の見通しをもつ。 2 教師の範読を聞く。 3 ライオンとしままの赤ちゃんの様子や成長を比べながら読み取る。 4 P100「カンガルーの赤ちゃん」を読み、ライオンやしままと比べる。 5 他の動物の赤ちゃんについて調べる。 6 学習を振り返る。	・動物の赤ちゃんについて知っていることなどを出し合い、動物の赤ちゃんへの興味・関心をもつ。 ・「どうぶつの赤ちゃんについて、かかっていることをくらべながらよもう」という学習課題を確認する。 ・「からだの大きさ」「目や耳のようす」「おかあさんににているか」といった読み取りの視点をはっきりさせて読み取らせる。 ・自分が赤ちゃんだったころの様子を家の人に聞く場合は、家庭事情に配慮する。 ・「生まれたばかりのようす」「大きくなっていくようす」をまとめる。 ・お母さんとの違いや、成長過程での親子のつながりについて確認する。 ・どのような違いがあるのか、気づいたことを発表する。 ・P99の図書を参考に、他の動物の赤ちゃんについて書かれた本や文章を読み、成長の様子など、分かったことと感想をまとめる。 ・他の動物の赤ちゃんについて調べて分かったこと、感想を交流する。 ・比べながら読むことで、違いがよく分かったことを確かめる。
【関】 動物の赤ちゃんについて説明されている文章や図鑑などを読み、進んで調べようとしている。	
【読】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライオンとしままを比べ、その違いについてまとめている。</li> <li>・目的に応じて、大事な言葉や文を書き抜いている。</li> </ul>	

	<p>【言】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主語と述語の関係に注意し、ライオンとしまうまの様子を読み取っている。</li> <li>・敬体で書かれた説明を理解している。</li> </ul>				
2月 ～ 3月	<p><b>単元名・教材名</b> にて いる かん字 (3)</p> <p><b>指導目標</b> ◎似ている漢字に注意して読んだり書いたりすることができる。</p> <p><b>言語活動</b> ■漢字の読み書きをする。</p>				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1～2似ている漢字に注意して文を書く。</td> <td>・似ている漢字の類似点と相違点を見付けさせる。</td> </tr> </tbody> </table>	学習活動	指導上の留意点	1～2似ている漢字に注意して文を書く。	・似ている漢字の類似点と相違点を見付けさせる。
	学習活動	指導上の留意点			
	1～2似ている漢字に注意して文を書く。	・似ている漢字の類似点と相違点を見付けさせる。			
<p>【関】形の似ている漢字や書き順を間違えやすい漢字を進んで見つけ、文の中で使おうとしている。</p> <p>【言】似ている漢字を区別し、書き順に気をつけて、文の中で正しく書いている。</p>					
3月	<p><b>単元名・教材名</b> すきな ところを さがして よもう だって だつてのおばあさん (8)</p> <p><b>指導目標</b> ◎場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むことができる。</p> <p>◎文章中の好きな言葉や文を書き抜くことができる。</p> <p><b>言語活動</b> ■お話の好きなところを見つけ、紹介し合う。</p>				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1物語を読んで、好きなところを発表し合う。 2～6場面ごとの様子や登場人物の気持ちを読み取り、話の好きなところを見付ける。 7～8「わたしのすきなおばあさんはぴょうかい」をする。</td> <td>・挿絵と文章を対応させて読み取り、おばあさんとねこが話したことを吹き出しに書かせる。 ・画用紙に自分のすきな5歳のおばあさんの絵と文、そのわけを書かいて発表させる。</td> </tr> </tbody> </table>	学習活動	指導上の留意点	1物語を読んで、好きなところを発表し合う。 2～6場面ごとの様子や登場人物の気持ちを読み取り、話の好きなところを見付ける。 7～8「わたしのすきなおばあさんはぴょうかい」をする。	・挿絵と文章を対応させて読み取り、おばあさんとねこが話したことを吹き出しに書かせる。 ・画用紙に自分のすきな5歳のおばあさんの絵と文、そのわけを書かいて発表させる。
	学習活動	指導上の留意点			
	1物語を読んで、好きなところを発表し合う。 2～6場面ごとの様子や登場人物の気持ちを読み取り、話の好きなところを見付ける。 7～8「わたしのすきなおばあさんはぴょうかい」をする。	・挿絵と文章を対応させて読み取り、おばあさんとねこが話したことを吹き出しに書かせる。 ・画用紙に自分のすきな5歳のおばあさんの絵と文、そのわけを書かいて発表させる。			
<p>【関】場面の様子や登場人物の好きなところを見つけながら、お話を進んで読もうとしている。</p> <p>【読】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の行動を中心に好きなところを見つけながら読んでいる。</li> <li>・好きな場面や登場人物の好きなところを書き抜いている。</li> <li>・どうしてその場面が好きか、理由を書いている。</li> </ul> <p>【言】理由を表す言葉を理解して使っている。</p>					
3月	<p><b>単元名・教材名</b> おもい出して かこう いい こと いっぱい、一年生 (12)</p> <p><b>指導目標</b> ◎必要な事柄を集め、順序を考えながら、文と文の続き方に注意して書くことができる。</p> <p>◎句読点の打ち方やかぎの使い方に注意して正しく書くことができる。</p> <p><b>言語活動</b> ■経験したことを報告する文章を書く。</p>				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1「おもいでアルバム」を作ることを理解し、準備をする。 2～7アルバムに載せたい事柄を選び、カードに書く。 3「おもいでアルバム」を作り、友達や家の人に見せて感想を書いてもらう。</td> <td>・運動会や旅行など思い出の写真を用意してもらうことを家庭に連絡しておく。 ・「したことやあったこと」「言ったことや言われたこと」「思ったこと」を書くようにさせる。</td> </tr> </tbody> </table>	学習活動	指導上の留意点	1「おもいでアルバム」を作ることを理解し、準備をする。 2～7アルバムに載せたい事柄を選び、カードに書く。 3「おもいでアルバム」を作り、友達や家の人に見せて感想を書いてもらう。	・運動会や旅行など思い出の写真を用意してもらうことを家庭に連絡しておく。 ・「したことやあったこと」「言ったことや言われたこと」「思ったこと」を書くようにさせる。
	学習活動	指導上の留意点			
	1「おもいでアルバム」を作ることを理解し、準備をする。 2～7アルバムに載せたい事柄を選び、カードに書く。 3「おもいでアルバム」を作り、友達や家の人に見せて感想を書いてもらう。	・運動会や旅行など思い出の写真を用意してもらうことを家庭に連絡しておく。 ・「したことやあったこと」「言ったことや言われたこと」「思ったこと」を書くようにさせる。			
<p>【関】1年間の思い出を思い浮かべ、必要な材料を集めて書こうとしている。</p> <p>【書】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵や写真をもとに、思い出した出来事や、それにまつわる事柄を書き出している。</li> <li>・知らせたいことが明確になるように、「いつ、何を、どうだった」など順序を考えて並べ、語と語や文と文の続き方に注意して分かりやすく書いている。</li> <li>・文章を読んで間違いを正したり、感想を伝え合ったりしている。</li> </ul> <p>【言】句読点の打ち方やかぎの使い方を理解して、正しく書いている。</p>					

## 第1学年書写 年間指導計画

ア 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら、丁寧に書くこと。

イ 点画の長短や方向、接し方や交わり方などに注意して、筆順に従って文字を正しく書くこと。

月	単元名・教材名	時数	目標	主な学習活動と留意点
4月	<b>1はじめに</b>			
	じを かく しせい えんぴつの もちかた [教科書P4-6]	2～3	◎文字を書くときの姿勢を理解することができる。[伝国(2)ア]  ◎鉛筆の持ち方を理解し、いろいろな線を書くことができる。[伝国(2)ア]	1 P2-3の写真を見て、文字を書くときの姿勢を知る。 2 唱え歌「あしは ペったん。せなかは びん。…」に合わせて姿勢を確かめる。  1 P4-6の写真や唱え歌を見て、鉛筆の持ち方を知る。 2 P5-6を見て、手の置き方を知る。 3 これまでに学習した文字を書くときの姿勢と鉛筆の持ち方で、いろいろな線を書く。
5月	2. ひらがな			
	ひらがな あつまれ [教科書P7-8]	適宜	◎平仮名の五十音表を見ながら、自分の名前を丁寧に書くことができる。[伝国(1)ウ(ア), (2)ア・イ]	1 平仮名の五十音表から、自分の名前の文字を探して印をつける。 2 濁点・半濁点の書き方の約束を知る。 3 自分の名前を平仮名で書く。
	かきじゅん [教科書P9]	1	◎平仮名の筆順に気を付けて書くことができる。[伝国(1)ウ(ア), (2)ア・イ]	1 筆順番号に沿って「こい」を指でなぞり、平仮名には「かきじゅん」があることを知る。 2 筆順にしたがって、「こい」を鉛筆でなぞる。
	「とめ」と「はらい」 [教科書P10-11]	2	◎平仮名の終筆（止め・払い）に気を付けて書くことができる。[伝国(1)ウ(ア), (2)ア・イ]	1 終筆に気を付けて「くつ」を指でなぞり、止め・払いの書き方を知る。 2 鉛筆で止め・払いをもつ線をなぞる。 3 止め・払いの書き方に気を付けて「くつ」「うし」「かき」などを鉛筆でなぞる。
6月	「まがり」と「おれ」 [教科書P12-13]	2	◎平仮名の送筆（曲がり・折れ）に気を付けて書くことができる。[伝国(1)ウ(ア), (2)ア・イ]	1 「の」を指でなぞり、曲がりの書き方を知る。 2 曲がりの書き方に気を付けて、曲がりをもつ線や「つの」「あめ」「もち」を鉛筆でなぞる。 3 「ろ」を指でなぞり、折れの書き方を知る。 4 折れの書き方に気を付けて、折れをもつ線や「くろ」「そら」「ゆめ」を鉛筆でなぞる。
	「むすび」 [教科書P14-15]	2	◎平仮名の送筆（結び）に気を付けて書くことができる。[伝国(1)イ(エ)(オ), ウ(ア), (2)ア・イ]	1 「ます」の赤い線を指でなぞり、結びの書き方と形の違いを知る。 2 促音や拗音、句読点の書き方を知る。 3 結びの書き方に気を付けて、「よる」「むね」などを鉛筆でなぞる。
7月	すきな こと、なあとくくご [教科書P16-17]	2	◎これまでに学習したことを生かして、丁寧に書くことができる。[伝国(1)イ(エ)(オ), ウ(ア), (2)ア] ○好きなことを紹介する文を書くことができる。[B(1)ウ・エ, (2)ウ]	1 ます目の用紙と罫線の用紙それぞれの、文の書き始めや句読点などの書き方を知る。 2好きなことを紹介する文を、姿勢や鉛筆の持ち方、平仮名の筆順や終筆・送筆の書き方に気を付けて、丁寧に書く。
9月	にて いる ひらがな [教科書P18]	2～3	◎形が似ている平仮名の違いに気を付けて、正	1 「ち」と「ら」の違いを見つけて、話し合う。 2 P18の文字の違いを見つけて、話し合う。

			しく書くことができる。 [伝国(1)ウ(ア), (2)ア・イ]	3 違いに気を付けて鉛筆でなぞる。 4 違いに気を付けて「さつき」を書く。
9月	じの かたち [教科書P19]		◎平仮名の外形に気を付けて書くことができる。[伝国(1)ウ(ア), (2)ア・イ]	1 「ひつじ」や絵を見て、文字には真四角・横長四角・縦長四角などの形があることを知る。 2 外形に気を付けて、「ひつじ」「ねこ」を書く。
10月	3. かたかな			
	かたかなの かきかた [教科書P20-21]	2	◎片仮名の終筆(止め・はね・払い)と送筆(折れ・曲がり)に気を付けて書くことができる。[伝国(1)イ(エ), ウ(ア), (2)ア・イ]	1 「ハ・オ・サ」を指でなぞり、画の終筆の止め・はね・払いの書き方を確かめる。 2 終筆の書き方に気を付けて、「ハンバーグ」「オレンジ」「サラダ」を鉛筆でなぞる。 3 「フ・ヒ」を指でなぞり、画の送筆の折れ・曲がりの書き方を確かめる。 4 送筆の書き方に気を付けて「プリン」「ピラフ」を鉛筆でなぞる。
	かたかな あつまれ [教科書P22-23]	適宜	◎片仮名の五十音を終筆や送筆の書き方、筆順などに気を付けて書くことができる。[伝国(1)イ(エ), ウ(ア), (2)ア・イ]	1 促音や長音の書き方知り、「ゴリラ」「ラケット」「トースト」を鉛筆でなぞる。 2 画の終筆や送筆、筆順などに気を付けて、自分の名前を片仮名で書く。
	4. かん字			
	「とめ」「はね」「はらい」 [教科書P24-25]	2	◎漢字の画の終筆(止め・はね・払い)に気を付けて書くことができる。[伝国(1)ウ(イ), (2)ア・イ]	1 「小・大」を指でなぞり、漢字の画の終筆(止め・はね・払い)の書き方を知る。 2 画の終筆(止め・はね・払い)に気を付けて、止め・はね・払いをもつ線や漢字を鉛筆でなぞる。
11月	「おれ」「まがり」「そり」 [教科書P26-27]	2	◎漢字の画の送筆(折れ・曲がり・反り)に気を付けて書くことができる。[伝国(1)ウ(イ), (2)ア・イ]	1 「日・七・子」を指でなぞり、漢字の画の送筆(折れ・曲がり・反り)の書き方を知る。 2 画の送筆(折れ・曲がり・反り)に気を付けて、折れ・曲がり・反りをもつ線や漢字を鉛筆でなぞる。
	5. かん字と かたかな			
	かきじゅん [教科書P28]	2～3	◎筆順の原則(上から下へ・左から右へ)を理解して書くことができる。[伝国(1)ウ(ア)(イ), (2)ア・イ]	1 「上から下へ」「左から右へ」という筆順の原則を知る。 2 筆順の原則にしたがって、漢字や片仮名を書く。
	字の かたち [教科書P29]		◎漢字や片仮名の外形に気を付けて書くことができる。[伝国(1)ウ(ア)(イ), (2)ア・イ]	1 「十・二・月」や絵を見て、漢字にも真四角・横長四角・縦長四角などの形があることを知る。 2 外形に気を付けて、「十二月」「パン」を書く。
12月	にて いる かん字と かたかな [教科書P30-31]	2	◎形が似ている漢字や片仮名の違いに気を付けて、正しく書くことができる。[伝国(1)イ(エ), ウ(ア)(イ), (2)ア・イ]	1 「三」と「ミ」の違いを見つけて、話し合う。 2 「八・ハ」や「ソ・ツ・ン・シ」の違いを見つけて、話し合う。 3 画の長さや向きに気を付けて、「八人」「ハム」「マラソン」「シャツ」を書く。
1月	6. まとめ			
	かきぞめ [教科書P32-33]	5～6	◎これまでに学習したことに気を付けて書くことができる。[伝国(1)イ(エ)(オ), ウ(ア)(イ), (2)ア・イ]	1 書き初めについて知る。 2 P32「たいせつ」を見て、これまでに学習したことを確認する。 3 これまでに学習したことや文の書き始めや句読点の書き方に気を付けて鉛筆で文章を書く。 4 フェルトペンの持ち方を確認し、フェルトペンで「ふじ

				山」を書く。
2 月 3 月	一年生の まとめ [教科書P34-35]	2～ 3	◎1年生で学習したことを振り返り、書いて確かめることができる。 [伝国(1)イ(エ)(オ), ウ(ア)(イ), (2)ア・イ] ○経験したことを報告する文章を書くことができる。[B(1)ウ・エ, (2)イ]	1問題を解いたり、文字を書いたりして、平仮名・片仮名・漢字の終筆・送筆の書き方と外形を確かめる。 2これまでに学習したことに気を付けて、1年生の思い出を書く。
適宜	しりょう			
	よこがきの かきかた [教科書P37-36]	適宜	◎横書きの書き方を理解して書くことができる。[伝国(1)イ(エ)(オ), ウ(ア), (2)イ] ○観察したことを記録する文章を書くことができる。[B(1)ウ・エ, (2)イ]	1横書きの書き方や数字の書き方を知る。 2横書きで観察日記を書く。
	一年生で ならう かん字 [教科書P38-39]		◎1年生で学習する漢字の書き方を確かめることができる。[伝国(1)ウ(イ), (2)ア・イ]	1漢字の画の終筆・送筆の書き方、筆順の原則、外形など、学習したことを振り返る。 21で確認した内容に当てはまる文字を探して書く。